

「元気とやま創造計画アクションプラン(R5年度版)」

政策の柱	安心とやま	政策名	1 医師の養成・確保
政策目標	地域医療を担う医師が確保され、すべての県民が質の高い患者本位の必要な医療を受けることができること。		

主な事業等

(単位:千円)

施策	内容	【参考】 R5予算額
(1)地域医療を志す医師の養成・確保	■地域医療を志す医学生の養成・確保 <ul style="list-style-type: none"> ・地域医療再生修学資金貸与事業 公的病院等の勤務を志望する医学生(1~4年生)、小児科、外科、産科、麻酔科、救急科、総合診療科の勤務を志望する医学生(5、6年生)に対する修学資金の貸与 ・地域医療確保修学資金貸与事業 医学部の定員増により入学する富山大学及び金沢大学の医学生に対する修学資金の貸与等 ・医学生医療情報提供事業 県内出身医学生に対する知事の手紙の送付等 ・自治医科大学経常運営費負担金 自治医科大学における医師の養成(大学運営のための負担金) ・とやま地域医療連携ネットワーク推進事業 医学生等のキャリア形成支援、医師不足・偏在状況の調査分析、医師の派遣調整等を行う寄附講座を富山大学附属病院に設置し、医師不足の県内医療機関を支援 ・【新】地域医療フレキシブル体験推進事業 特別枠の医学生による自主企画型の地域医療体験実習を実施し、地域医療に対する意識の涵養を図る ・地域医療支援センターの設置 公衆衛生医師を含む地域医療に従事する医師の確保・定着を図るため、地域医療支援センターを運営 	<p>28,740</p> <p>114,988</p> <p>206</p> <p>131,200</p> <p>40,000</p> <p>5,000</p> <p>2,019</p>
(2)初期臨床研修医や専門医の確保と育成	■初期臨床研修医と専攻医の確保・育成 <ul style="list-style-type: none"> ・臨床研修医確保総合対策事業 臨床研修病院連絡協議会を通じた研修指導体制等の充実に向けた連携強化や医学生に対するPRの拡充等 ・専攻医確保対策事業 各病院の専門研修プログラムのPRを支援 ・専門医認定支援事業 専門医制度の円滑な運用のための協議会の開催等 ・臨床研修指導医講習会の開催 	<p>9,040</p> <p>3,920</p> <p>3,700</p> <p>500</p>
(3)産科や小児科、麻酔科、救急部門、総合診療などの人材確保	■総合医の育成推進 <ul style="list-style-type: none"> ・総合医育成支援事業の実施 総合医を育成する後期研修を行うへき地医療拠点病院への助成 ■救急部門の医師の育成推進 <ul style="list-style-type: none"> ・救急科専門医等育成確保事業 ドクターヘリを活用し、救急医の育成確保を推進 ■子どものこころの診療を専門とする医師の育成推進 <ul style="list-style-type: none"> ・児童精神科医等養成講座設置事業 子どものこころの診療を専門とする児童精神科医等を養成するための寄附講座を、富山大学附属病院に設置 ・子どものこころの診療サテライト事業 県リハ病院から各地域の基幹病院に医師を派遣し、発達障害児(疑い)の診療を行うとともに、OJTにより各基幹病院等の医師育成を図る。 	<p>2,253</p> <p>6,540</p> <p>40,000</p> <p>11,000</p>
(4)医師の勤務環境の改善	■医療勤務環境の改善 <ul style="list-style-type: none"> ・医療勤務環境改善・キャリア支援事業 医療勤務環境改善支援センターと女性医師等相談窓口を一体的に運営し、各医療機関の勤務環境改善に向けた取組みを総合的に支援しながら、医師の働き方改革等を促進 ・地域医療勤務環境体制整備事業 救急患者の受入等により長時間勤務を余儀なくされている医療機関の働き方改革への取組みを支援 ■女性医師等の支援 <ul style="list-style-type: none"> ・女性医師等支援事業(医療勤務環境改善・キャリア支援事業の一部を含む) 相談窓口の設置、女子医学生等の県内定着の支援、勤務環境の整備に対する助成 	<p>11,000</p> <p>86,048</p> <p>7,584</p>

<参考>

活動指標

指標名	現況 R3年度	目標		指標の説明
		R3 (2021年度)	R8 (2026年度)	
医学生修学資金延べ貸与者数	468人 (R4)	504人	576人	医学生に対する修学資金の貸与制度を開始した平成17年度以降の延べ貸与者数